



シャラノキ

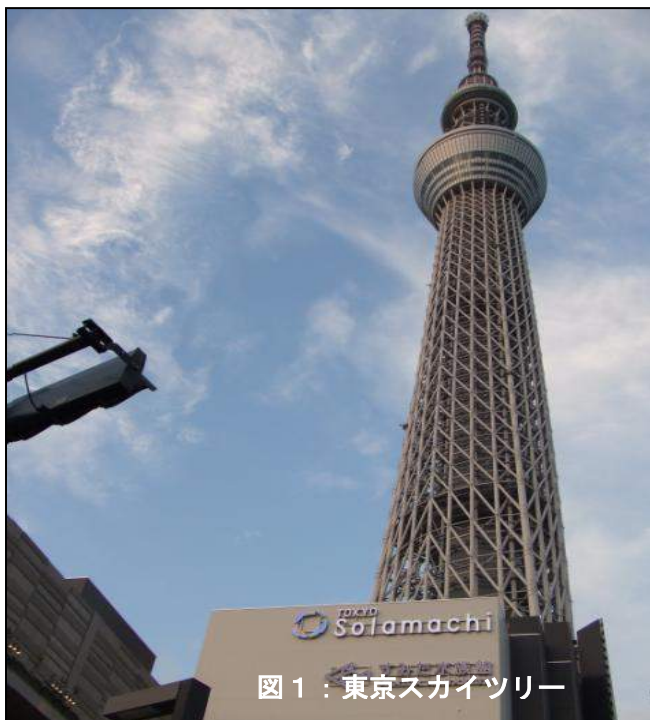


図1：東京スカイツリー

天望デッキから、さらに天望回廊(450m)に登るためには別料金(1,000円也)が必要で、現金支払いでした。20分並んで、ようやく天望回廊に登って見ると、100mの高さの差で景色がかなり違うことが分かります。ここは450mから445mまでの高度差がついた110mの回廊が続いています。

また、天望回廊は、カフェで展望が一部区切られた天望デッキと違い、360度の展望を楽しむことができます。

西を見ると、隅田川の向こう側に、上野動物園や東京国立博物館のある上野の森や、皇居の木々の緑で位置関係が分かり、遙かかなたに新宿の都庁や東京タワーが見えます。



図3：隅田川上流と荒川

東京スカイツリーに登ってきました。

いつだったか、テレビニュースで東京スカイツリーの入場券の大量キャンセルがあり、ネット予約のみ可能ということを知りました。

早速東京スカイツリーのHPに入ってみると、空席のある日が表示されており、自分が都合のよい日時を決めて予約をする、当日入口でキャッシュカード決済を行うという方法です。

東京スカイツリーに着いたら、所定の手続きを済ませ、エレベータで天望デッキ(350m)に登ります。

東京タワーと比べると、こちらは皇居や国会議事堂が近いのははっきりと見ることができますが、東京スカイツリーのほうは、都の中心部からかなり離れているので、どこに何があるかよくわかりませんでした。



図2：東京スカイツリーから我妻橋と浅草方面

東京スカイツリーは、東京の名所のひとつとして、後世に残って行くでしょう。

そこから見える景色は、見渡す限り道路と建物でできた大東京ですが、街の真ん中を川がゆったりと流れていることに気づきます。北の眼下には荒川から分かれた隅田川が、ゆるいカーブを描きながら流れていきます。(図3)その曲線がすばらしい。

東京スカイツリーという高いところに登って、街の大きさだけではなく、川の存在も再確認したひとときでした。

子在川上曰逝者如斯夫不舍晝夜 [出典]『論語』子罕 16
(文責 事務長)